



梅木だより

令和2年度

令和2年4月6日

教育目標 やさしく かしこく たくましく

No. 1



すべては子どもたちのために ＜ お子さまのご入学、ご進級、おめでとうございます ＞

校長 傳田 学

令和2年度の教育活動が始まりました。新入生81名と転入生を迎え、全校503名の子どもたちとの新しい出発の日です。教職員一同、本日の始業式、入学式で子どもたちと出会えたことを、何よりも嬉しく思っています。

この令和2年は、新型コロナウイルス感染症の記憶が強く刻まれる年となりそうです。現在、感染拡大予防のために、保護者の皆様、地域の方々、そして何よりも子どもたちに多くの苦勞と我慢をお願いしていること、誠に申し訳ありません。この対応は今後しばらく続き、2回の登校日を経たのち、現段階では5月の大型連休明けを授業再開予定としていますが、状況によっては大きな変更も有り得ることをご了承ください。

今更ながら、学校の教育活動が普通にできることの「有り難さ」を強く感じています。だからこそ、子どもたちとの一日一日を本当に貴重なものとして捉え、本校の教育活動をよりよく進化させていくための期間をいただいたのだと、前向きに考えたいと思います。今まで以上に教育環境を整え、授業再開の日を心待ちにしています。

さて、本校の教育目標は、「**やさしく かしこく たくましく**」です。徳・知・体の順に構成され、シンプルな中に子どもへの溢れんばかりの愛情と希望が込められた言葉です。毎年、本教育目標の具現化のために、家庭・地域の協力を得ながら、学校が取り組んでいくことを綿密に計画して教育活動を進めていくものなのですが、では、肝心の「子ども自身が努力することは何か」と考えてみました。次のとおりです。

やさしく	→	一日ひとつ	人のためになることをしましょう
かしこく	→	一日ひとつ	かしこくなって帰りましょう
たくましく	→	一日ひとつ	元気になることをしましょう

キーワードは「**一日ひとつ**」です。毎日、子ども自身が学校での生活を振り返り、自分の成長のための努力ができたかどうか、この言葉を基に確認して、小さな一歩を積み重ねていくことが大切です。内省（introspection）は、自分を理解し、大切にすることにもつながります。学校の臨時休業期間にも、家庭での生活の振り返りに使ってもらえたらと考えています。ご家庭でお話いただくと幸いです。

最後になりましたが、このたび、本校校長として着任しました、傳田 学（でんだまなぶ）です。前任の原田 英孝 校長と同様に、大切なお子様をお預かりいたします。まずは子どもにとって「人生でこのときだけの一年間」を実り多いものとするため、『**すべては子どもたちのために**』を私自身の教育理念として、尽力させていただきます。どうぞよろしくお祈りいたします。



